

令和4年度第2回住吉区区政会議

令和4年9月6日（火）

【新熊（司会）】 定刻となりましたので、ただいまより、令和4年度第2回住吉区区政会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、住吉区区政会議にご出席をいただき、ありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます政策推進課長代理の新熊でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、開催に当たりまして、住吉区長の平澤よりご挨拶を申し上げます。

【平澤区長】 皆さん、こんばんは。区長の平澤です。平素より住吉区政にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

本日の区政会議では、前回の区政会議で皆さんから非常に幅広いご意見をいただきましたので、今回は3つのグループにカテゴライズさせていただきまして、それぞれのテーマに従って自由なご意見をいただけるような場を設定させていただいております。今後も皆さんからのいろんなご意見、ご提案いただける場に、できるだけ多く時間を取っていきたいと考えております。また、今回、区役所の職員も一緒に議論の場に入らせていただいて、議論も深めていきたいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

あともう1点、宣伝をさせていただきたいんですけども、皆様の机の上にカラーの「寄附をお願いします！」というチラシを置かせていただいております。9月に入りましてから、区役所で防犯カメラ購入のための寄附を区民の皆様をお願いをしているところでございます。安全なまちづくりということで、この間、防犯カメラを区内にかなり設置してまいったところですが、昨年度は移動式の防犯カメラを1台購入いたしました。ハト、カラスのエサやりでありますとか、小学校のガラス窓を割られたりといった事件もありましたので、こういった移動式の防犯カメラを設置しまして、安全なまちづくりに努めているところでございます。私どもとしても努力してまいります、区民の皆様方にもぜひご協力いただけたらということで、今、寄附を受け付けておりますので、ご協力いただければと思っております。また、知り合いの方等にも、こういった寄附があるよと宣伝に努めていただければ大変ありがたく存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

ちょっとお時間をいただきましたけども、今日も充実した議論につなげてまいりたいと

考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

会議を始めるに当たりまして、皆様方にお願いがございます。この区政会議は条例に基づく会議となっております。後日、会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

傍聴の皆様には、受付でお渡しいたしました遵守事項をお守りいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、会議開催中はマスクを常時着用していただくとともに、会議中、マイクを通してご発言いただく際には、できるだけマイクを口元から離して発言していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

続きまして、市議員の皆様におかれましては、条例第8条に、「区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができる」と規定されております。本日、お見えになられております市議員をご紹介します。伊藤議員。

【伊藤議員】 こんにちは。よろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 井上議員。

【井上議員】 こんばんは。どうぞよろしくお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

ここで、本日の委員の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在17名ご出席いただいております。条例第7条による定足数であります定数の2分の1以上を満たしていることをご報告させていただきます。

本日の区政会議は20時30分までの2時間を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症対策を講じて円滑に議事を進行していきたいと存じますので、委員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、本日の区政会議の進め方をご説明いたします。

まずは、報告事項としまして、各専門会議等の概要を関係課長よりご報告させていただきます。

次に、グループディスカッションといたしまして、グループごとに異なる3つのテーマ、「地域の魅力」について、「こどもの成長」について、「社会的弱者との共生」についてをご議論いただき、各グループより発表していただきます。また、十分な時間設定とはなりません、他のグループのテーマに対するご意見等をいただく時間も設けさせていただきます。

ます。グループディスカッションにつきましては、後ほど改めて配付資料に沿ってご説明させていただきます。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。

お手元、資料右上に番号をつけております。配付資料として、①から⑦までとなります。また、別に「区政会議へのアイデア・ご意見について」、令和4年度「区政会議に関するアンケート」のご依頼文とアンケート用紙をお配りしております。こちらは後ほどご説明、お願いをさせていただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

本日の資料は以上となりますが、配付資料⑤「令和4年度第1回住吉区総合教育会議 会議要旨」は事前に資料のお送りができておりません。この場で初めてご提示させていただく資料となります。

お配りしている資料に不足等はございませんでしょうか。

それでは、以降の区政会議の議事進行を辻野議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【辻野議長】 皆様、こんばんは。議長の辻野です。よろしくお願いいたします。

本日もお忙しい中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。本日の会議は先ほどありましたように20時30分までとなっていて、コロナの中で時間短縮をしてきた2年ほどだったと思うんですけども、時間が全く足りないぐらいに意見をたくさんいただいています、今回、2時間という設定にご無理をお願いして戻していただいたところがあります。

グループディスカッションということですが、細かい進め方に関して、後ほど説明させていただきたいと思いますので、まずは議事、報告事項から進めたいと思います。それぞれの会議内容をまとめて区役所の方に報告していただいて、その後に委員の皆さんからご意見をまとめていただくという形にしていきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは、最初に区役所からご報告をお願いいたします。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。

私のほうから、報告事項の1点目、「令和4年度第1回住吉区防災専門会議」についてご報告させていただきます。

お手元配付資料の③番をご覧ください。

令和4年6月29日に実施させていただいたもので、6番の議事要旨をご覧ください。

報告事項といたしまして、1点目、令和3年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針につきまして、災害時クラウド型情報システム、住吉区で独自で導入しているシステムですが、収集した情報の具体的な可視化方法や参加施設の割合などの説明を行いました。また、水害ハザードマップにおける色分けの変更や、JRの駅における水害時避難ビルの設定について、現段階では様々な課題があり、困難であるというような説明を行ってまいりました。

2点目といたしまして、令和3年度第3回区政会議における防災に関する意見要旨につきまして、災害時用タブレットにおける通信環境や、地域見守り支援システムにおける実践的な見守り活動の対応方針につきまして、区政会議の委員様からいただいた意見の説明を行ってまいりました。

3点目といたしまして、大和川に係る避難情報発令基準水位の見直しについて、令和4年5月から、柏原の観測所の水位ですけれども、警戒レベル3におきまして4.7mから4.96m。警戒レベル3は高齢者の避難ということで、避難に時間がかかる人は早めの避難をお願いするものです。警戒レベル4については5.3mから5.54m、こちらのほうは全員避難という形になっています。警戒レベル5は6.8mから6.19mということで、水位の変更があったものでございます。

裏面をご覧ください。

議題といたしまして、令和4年度防災の取組についてでございます。

大和川氾濫等の水害に備えた取組や、女性の視点を踏まえた避難所運営、福祉避難所開設運営動画の作成など、説明を行わせていただきました。

ジェンダー問わず、様々な配慮が必要な人がいるということで、みんなで議論をして共有することによって、お互いに配慮し合って、共に避難できる場所になるというご意見がございました。

また、区内で局所的に火災が発生した際に、区役所はどのような動きをするのか教えてほしいというご意見がございましたので、区役所として、消防からの連絡を受けて防災担当2名が現場に駆けつけ、近隣や家族の避難ができない方に対しての一時的な避難場所、地域の会館や老人憩の家ですけれども、町会長や地活協会長に相談、依頼をさせていただいて、それとともに避難者に対して食料や毛布、日用品の配付等を行っている旨の説明を行いました。

2点目といたしまして、令和4年度総合防災訓練について、これまでコロナ禍で2年間、

一般住民の参加を募れなかったので、アンケート等で一般の参加者を募ってほしいということから、そういったこともさせていただいて、町会の一時避難場所や災害時避難所の開設運営訓練を実施してまいります。さらに、新たな重点取組といたしまして、女性の視点を踏まえた避難所運営についても実施してまいりたいと考えております。

3点目といたしまして、個別避難計画、住吉区でいう個別支援プランの作成についてでございます。災害対策基本法の改正により、概ね5年以内に作成することが努力義務となりました。それを受けまして、現在の取組実績や今後の取組目標などの説明を行ってまいりました。

私のほうからは以上です。

【田中保健福祉課長】 失礼いたします。保健福祉課長の田中です。

私のほうからは、令和4年度第1回住吉区地域福祉専門会議の議事要旨につきまして、ご説明をさせていただきます。

配付資料の④番をご覧ください。

こちらのほう、去る6月30日の木曜日に開催をさせていただきました。

4の議題でございますけれども、報告事項といたしまして、住吉区地域見守り支援システムの進捗状況について、地域座談会の開催状況について、住吉区地域福祉ビジョンVer.2の令和3年度事業の進捗状況につきまして報告させていただいた後に、議事といたしまして、住吉区地域福祉ビジョンVer.2の令和3年度事業総括と令和4年度の事業計画につきまして、ご議論をいただきました。

5番目の議事要旨等ということで、この議事に関してご意見をいただいたところでございます。

主な意見といたしまして、まず、「総合的な支援調整の場（つながる場）」で昨年作成された相談支援機関のガイドブックが良い取組なので評価に入れるべきということと、つながる場の個人情報の取扱いについて、もっと柔軟にできないかというような意見が出ました。

つながる場につきまして、簡単に説明させていただきますと、8050問題に代表されますように、なかなか1つの相談支援機関だけでは解決できない複合的な課題を抱えた人あるいは世帯に対して、横断的に支援をする場ということで開催させていただいております。

続きまして、ヤングケアラーに関してもご意見が出されております。大阪市においてアンケート調査を実施したけれども、区としても実態をつかみ、取組を深めていってもらい

たいという意見が出されました。

裏面に移りまして、学校が抱えている課題としまして、不登校、家に引きこもらないよ
うにどのようにしていくのか、福祉支援が必要というようなこと、あるいはNPOとの連
携というのをもっと図っていくべきではないかというご意見、また、ヤングケアラーにつ
いても、地域ではまだまだ知られていないので、分かっただければいいなというご意
見をいただきました。

最後に、これまで縦割りで、いろいろ弊害が出ていたということで、縦割りを廃し、専
門職、行政機関が種別を打破することを意識しながら地域づくりをやっていく必要がある
というご意見をいただきました。

以上でございます。

【山田教育文化課長】 住吉区総合教育会議の会議要旨についてご説明をさせていただきます。

私、教育文化課、山田でございます。どうぞよろしくお願いたします。

開催日時は令和4年8月25日でございます。

5の議論のポイントをご覧ください。

まず、この会議に際しましては、大阪市教育振興基本計画について概要を説明させてい
ただきました。

その後、(2)でございますが、住吉区における主な教育・子育て関連事業の令和3年度
の指標・実績と、令和4年度の取組によりめざす指標及び令和4年6月末の状況について
説明をし、委員から意見を聴取させていただきました。

はぐあっぷといいます身近な地域での子育ての相談ができるような拠点づくりに関しま
して、潜在的リスクへのアプローチ事業というのがございます。この目標といたします指
標が100%達成という大きな目標を掲げているが、大丈夫なのかというご意見をいただき
ました。区内の12地域のうち、既に11地域で実施できており、残る1地域についても今年
度中には実施の方向である旨、ご説明をさせていただいております。全12地域実施できれ
ば指標達成となりますので、100%で問題ないという説明を行っております。

それから、重大な虐待ゼロに向けた地域・医療連携ネットワーク事業でございます。虐
待ゼロに向けて、行政と区内小児科かかりつけ医とがつながるための取組を行政が行って
いるところございまして、未訪問の区内小児科医療機関はどうされるつもりかというご
意見をいただいております。新型コロナウイルスの対応で医療機関が繁忙であったため、

第7波が落ち着いてから訪問する予定としているというご説明をさせていただいております。

それから、こどもサポートネット事業でございます。これは主任児童委員をされておられまして、学校ボランティアとして学校に行っておられる委員様からのご意見でございます。不登校の原因には、子ども同士のいじめなどのほか、大人が関係しているなど複雑なケースがあるということでございます。困っている子どもの変化に気づいて対応できる組織のシステムづくりが求められているのではないかとのご意見、地域資源との連携についてはどうしていくのかともご意見を頂戴しております。学校におけるスクリーニング会議の場が最も機能すると考えており、実際に地域の方に支援を要請したいといった話合いの機会もございますので、今後議論していきたいというご説明をさせていただいております。

そのほか、委員から意見を聴取しておりまして、福祉施策ガイドブックという、私どもの課で作成しております、不登校の対策並びに福祉の施策を全般的に掲載いたしました、学校教職員向けに作られた冊子がございます。それについては、作成意図が大変しっかりしていて、内容も非常に良いという評価をいただきました。学校教職員向けに配付するだけではなくて、多方面に情報提供するべきというご意見を頂戴しております。本冊子の内容については、区ホームページにてどなたでも閲覧できるようにしておりますという説明を行っております。

それから、PTA活動をなさっておられる方の懸念として、お話がありました。子どものマスク着用等の長期化による影響についてというご意見でございます。子どもたちの心身の発達に将来影響が出ないのか、大変心配しているのご意見を頂戴しております。

以上でございます。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

補足なんですけれども、専門会議を3つ設けていることがこの住吉区の特徴だと私は理解してまして、最初の第1報告では防災専門会議、第2報告では地域福祉専門会議、第3報告で総合教育会議という形で、防災、福祉、教育というようなカテゴリーに分けた専門会議を開催してこられたということで、そういうところで密接に区の行政政策等を生かしていただいていると理解しているんですけれども、ここでは区政会議ということで、包括的な議論をしていくということで、必ずしもこれらを全て踏まえた議論をするというわけじゃなくていいんですけれども、せつかくこういうことをやってこられてきているので、

こういうお知恵とか経験を借りながら、さらに包括的、総合的な議論ができたらなと思っています。

内容に関しまして、何かご意見とかご質問等がございましたら自由にご発言ください。いかがでしょうか。グループディスカッションもあるので時間を取ってというのもあるんですけども、せっかくなので一言、二言。質問がないと区の職員さんもほっとするとは思いますが、若干確認とかがあったほうが、せっかく一生懸命報告してくださっているんで、どうでしょうかね。いいですかね。

そしたら、私、質問ではなくて、また後のグループディスカッションにもつながるかなと思うことで発言をさせていただきますと、例えば最初の防災専門会議のところで議論になったとおっしゃっておられた、様々な配慮が必要な人がいるという、LGBTやトランスジェンダーの方とか、ジェンダー問わず、あるいは女性の方を重視して避難所の運営というような、幾つもの議論、課題があるかと思うんですけども、防災に限らず、様々な配慮が必要な人が地域には住んでおられるということなので、そのところも意識して、後で議論に生かしたらどうかと思いました。

あと、第2報告の地域福祉専門会議のところで、不登校ですとか、NPOの連携とか、ヤングケアラーというような、子どもたちの環境、生活環境をめぐる課題というのを出されていますので、子どもが安心して過ごせる、成長できるという地域社会、こんなことが議論できたらいいなと思いました。

第3報告の総合教育会議のほうでは、大阪市の教育振興基本計画、これは全体の市の計画が示されたということで、向こう4年ぐらいですかね、令和4年から7年度ということなので、そういうものを参考にしつつ、住吉区の地域に応じた教育政策、教育課題への政策ということが検討されていくのかなと思いますので、そのあたりも後ほど意見交換できたらなと。福祉施策ガイドブックは非常によい冊子であると書いてあったので、私もダウンロードしてみたんですけども、結構分量が多かったので、非常に見やすいなと思ったんですが、また改めて熟読してみたいなと思いました。

すみません、私から長くなりましたが、皆様のほうからご質問、ご意見等はいかがでしょう。よろしいでしょうか。もしありましたら、グループディスカッションの中で結構そういう議論ができるかなと思いますので、また、言い忘れたみたいなきっかけがありましたら、それもご意見を集約できるような仕組みをつくっていただきましたので、皆さんのご意見の取りこぼしがないようにと思っています。

そうしましたら、グループディスカッションに入っていきたいと思うんですけれども、初めての方もおられると思います。私も委員に就任したとき、いきなりグループディスカッションから始まって、なかなか慣れるのに時間がかかったんですけれども、第1回の住吉区区政会議のときに、非常に多くのご意見をいただきました。

その中で、資料⑥をご覧ください。

大きくは、この図にあるように暮らしやすいまちとか安心できるまち、楽しいまち、暮らしたいまちという地域社会の在り方と、そこで暮らす人間の在り方といいますか、そういうことをめざしてこの会議があるかなと思っているんですけれども、これだけだと少し漠然としているので、少し個別具体のテーマに分けたということです。

1つは「地域の魅力」、もう1つは「こどもの成長」、もう1つは「社会的弱者との共生」と。私も言葉の使い方が正しいか分からないんですけれども、社会的弱者とってよろしいかどうか分からないんですが、社会的に弱い立場に置かれている方々がおられるかと思しますので、この図、言葉、キャッチフレーズもいま一つセンスがないなと思われたかもしれませんが、センスがないところはすみません。

前回の議論を私なりに振り返ってみたんですけれども、皆さんから前回発言いただいたことを、多分いきなり思い出すというのは難しいと思いますので、私、前回の内容をまとめたのが手元にありますので、ちょっとご紹介しますと、マクロな防災というものが改善されてきたんだけど、身近なミクロな防災が課題だと思うという意見があったりとか、スクールソーシャルワーカーが配置されてきたんだけど、そもそも教員のほうの支援というのが課題になっていると思うというご意見をいただいたり、PTA、読み聞かせと、あと、マスクのジレンマみたいなお話をいただいて、教員や公務員の規範にも緩さと厳しさというバランスが必要じゃないかというご意見、大人のほうも教育機会、生涯学習の機会が必要じゃないかとか、町会離れの課題とか、「風かおる“みち”」が自転車置場になっていると。区役所の憩いの場の照明が切れているとか、自転車運転のルールやモラルの問題。自動車のほうは運転免許があり習うわけですけれども、自転車のほうが少し課題だと。区の広報で写真と記事のバランスみたいなことが指摘されたり、プロセス指標が数値で表されているけど、もう少し捉え方を改善できないかと。中学生とか高校生の子どもの声、これをどういうふうに生かしていくのかとかいうか、耳を傾けるのかと。子ども会とか、あるいは親御さんの意識の重要性をご指摘いただいたり、万葉集にも深いつながりを持つ住吉の歴史・文化という情報提供をいただいたり、公園が非常に整備されて素晴らしいとい

うご指摘いただき、おしゃれなカフェがあるということ。区民の生活を向上させるためには、そこで働く職員さんの労働環境も改善をということ。そんなところで、全ては網羅できなかったかもしれないんですが、前回はなんとなく思い出していただけたらありがたいなと思います。

そういった声を踏まえて、先ほどのような図と3つのカテゴリーに分けたんですけども、恐らくこの3つのカテゴリーで、自分の意見があるんだけど、これはぴったりこないから言いにくいなというのがあるかもしれませんが、あまり気にされずに、どっちかなと思う意見はぜひ出していただきたいなと思っています。区役所の職員さんが入っていただいて記録を取って書記をやってくださるということなので、そういうことを今後に反映させていきたいなと思いますので、ちょっとずれているかなと思わずに、ぜひ、どんどん発言いただいたほうがありがたいなと思っております。

今からグループディスカッションですけども、なかなか話しにくいと思いますので、少し自己紹介もしていただいて、また、ファシリテーターの司会進行役をお一人決めていただいて。最初、区の職員さんがやってくださるという話もご提案いただいたんですけども、区政会議なのでやっぱり自分たちでやる、回していくというほうが、議論もより出しやすいんじゃないかなというところもあります。

その代わりに、区役所の職員さんにグループに入ってくださいということで、これもフリーに、普段ちょっと遠いところにいますので、なかなか意見交換しにくいと思うんですけども、今回グループに入ってくださいということなので、ぐっと近くなったところでお話しいただきたいなと思います。ただ、区役所の方には一個人として自由に意見を言ってくださいと言っていますので、多分、区を代表した意見というと何もしゃべれなくなっちゃいますので、自由闊達なということで、よろしく願います。つまり、いじめないようにしてくださいということで、よろしく願います。

何となくイメージできましたでしょうか。何かご質問とか、進行につきましてご質問でしょうか。

委員の皆さんからいただいたアイデアとか解決策というのは、今後、住吉区役所のほうで各種の事業を推進するに当たって、業務の見直し等に生かしていただけると、あるいは予算化等の検討に加味していただいたりとか、令和6年度に策定する新しい住吉区の将来ビジョンなどに生かしていきたいというふうに聞いております。

次に、具体的なグループのディスカッション方法について、区役所の方にご説明いただ

きたいと思います。よろしく申し上げます。

【新熊（司会）】 それでは、司会のほうから、グループディスカッションの方法等につきまして、改めてご説明いたします。

議長、副議長と担当職員の皆さんはグループのお席へ移動をお願いいたします。

では、グループディスカッションの方法についてご説明いたします。

資料⑥はお手元にありますでしょうか。

現在お座りいただいているグループで、それぞれのテーマについて自由討議を行っていただきます。なお、各グループには、あらかじめ割り振りさせていただきました区政会議委員の皆様と区役所職員2名が入っております。

各グループのファシリテーター兼発表役、ファシリテーターというのは進行役と考えていただけたらいいと思いますが、進行役兼発表役の方を区政会議委員の中から1名決めていただきます。各グループの書記役は区役所職員が行います。ファシリテーター兼発表役が進行していただきまして、アイスブレイクを兼ねて、各委員と区役所職員より順に自己紹介と一言でも良いので、ご意見をその場で述べていただきます。自己紹介が一巡しましたら、ファシリテーター兼発表役から、出されたご意見等に対して感じたことや、その他のご意見等がないかをお尋ねいただくようお願いいたします。

なお、区役所職員へ質問して答えを求めていくような質疑応答の形式ではなく、区政会議委員、区役所職員にかかわらず、グループ内で一緒に意見交換していただき、ご意見等は実現性の有無を問いませんので、イメージやアイデア、解決策等、自由な視点でご発言いただきますようお願いいたします。ただし、他の方のご意見等の否定的、批判的なご発言はお控えいただきますようお願いいたします。

書記役がご発言されたご意見等を簡潔に記録いたしますので、この意見交換を今から45分間設けさせていただきます。

最後に、ファシリテーター兼発表役から、記録された内容より5分程度で発表していただきます。また、発表後に、別のグループからご意見等をご発言いただく時間を設けさせていただきます。

各テーマについて、資料をご覧ください。議論してもらう内容の例示と、関連する住吉区運営方針につきましては、ご議論いただく際のご参考としていただきますようお願いいたします。

それでは、今、7時5分です。これから7時50分までの45分間、意見交換を行っていた

できます。終了5分前にアナウンスさせていただきます。では、始めてください。よろしくをお願いいたします。

すみません、ちょっとその前に、中田議員が来られております。

【中田議員】 どうもすみません。公務で遅れまして申し訳ございません。よろしくをお願いいたします。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

それでは、改めてグループディスカッションを始めてください。よろしくをお願いいたします。

（グループディスカッション）

【新熊（司会）】 それでは、時間となりましたので、意見交換は終了となります。皆様、お疲れさまでした。

本日はアイデア出しですので、出た意見をそのまま言っていただければと思います。

それでは、発表のほうに移りたいと思います。

まずはAグループのほうから、「地域の魅力」について発表をお願いいたします。

【繁田委員】 私どものグループは、住吉の魅力づくりということで、今ある魅力を挙げますと、住吉大社の歴史等を教えていただきまして、特に神社の歴史、日本の歴史・文化について、昔からある住吉おどりとか神社に関わる魅力が多い中、まちづくりとどう結び合えばいいか模索しているところです。

町会活動の中での問題点が1つ出まして、一戸建てのおうちがたくさんある中の、昔からの交流はできるところと、大きなマンションができて、そのマンションのセキュリティが非常に厳しくて、中の方と交流ができない。マンション住民が、「何してんやろう」と興味を示すような、例えば町会の運動会とか、盆踊り大会とか、餅つき大会とか、ちょっとのぞいてみようかという誘いをできるような、一緒に融和いただきたいということをわかっていただけるような行事を開催する必要がある。

コロナ過で行事ができない中でも、例えば大きな行事、大きな祭り、花火大会、それにプラス、小さい餅つき等を復活させながら、ウィズコロナやアフターコロナに向けて新しい行事を実施する必要がある。

いろんなまちづくりのある中で、公園や道路の環境美化運動等、緑を大事にしようということもやっているが、通学路の安全確認や子ども見守り活動など高齢化しており、担い手も含め見直していく必要がある。

最終的には皆さんのご意見の中で、子どもさんをターゲットにしましょうと。子どもさんを通じていろんな行事を進めていきたい。子どもさんを誘えば、親が出てくる。子どもさんが喜ぶようなことを中心にやっていければ親も参加するので担い手の発掘にもつながる。さらにこのまちの魅力をつくるには、将来を担う子どもたちをいかに我々と一緒に育てていけるかが重要であり、大人も一緒にがんばっていくべきだという結論になりました。

以上でございます。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

ここで、Aグループのテーマや発表いただいた内容に関しまして、他のグループの方からご意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次にBグループから、「こどもの成長」について発表をお願いいたします。

【山本委員】 山本です。発表させていただきます。

Bグループ、テーマが学校と地域をつなぐ大人の視点、子どもの視点というところで議論をさせていただきました。その中で3つ、大きなキーワードになるかなという言葉が出てきて、1つ目が地域、2つ目が大人の教育、そして3つ目が楽しく参加できると。そういった3つのことが話として出てまいりました。

1つずつ深掘りしてまいりますと、1つ目の地域というところでは、こちらに関しましては、教育と一言で言いますが、学校教育だけではなくて、家庭での教育、そして今回、地域の教育というのが非常に大事になってきているのではないかと、要は家庭だけでずっと教育していけるというような時代ではもうなくなってきているのかなということ、現場の皆さんの意見を聞きながら出てきたのがそのキーワードでございました。

2つ目のところでは、そういったところも踏まえてですけれども、大人の教育というのが非常に大事なんじゃないかなということ。今の親になっている世代というのはいわゆるゆとり世代が多いと。そういった大人に対しても、教育を受けられるような場所というのを提供していく必要があるのではないかとというような意見。要は区民まつりであるとか、大人が集まる、そして子どもも当然集まれるような場所というのを、大人が単純に中止するのではなくて、やっていく姿勢、そういったところを見せるということも非常に大事なのではないかと。そういうふうな意見が出ておりました。それが2つ目でございます。

3つ目のところでは、そういったところを維持するためには人が要るよねと。ただ、そういった人というのはやっぱり減ってきている実情もありますというところで、それをどういうふうにしていこうか、そこが楽しく参加できるみたいなどころになってく

るかと思います。

そこについて、実際現場でやられているアイデア等をいただいたんですけども、例えば、役員みたいなのが普通の学校、PTAではあると思うんですけど、そういったものをあえてなくすことで全員を当事者にして、この時間なら、この日なら、1時間でも数分でも参加できますよ、みたいな体制にしていくこと、委員をつくらず、あえてみんなを当事者にしていくということ、あるいはサポーター制度みたいなのもあったりしますよとか、あるいは掲示板を活用して、情報のバリアフリーじゃないですけども、役員等が情報を握っている、一部の人のみで回していくのではなくて、みんなで情報共有しながらやっていくと、参加者も増えて、興味を持っていく人が増えていくのではないかなというようなところで、みんなが楽しく参加できるというようなところの話が出ておりました。

全体をまとめるんですけども、2番目の話とかとも関わってきますが、地域行事に参加している子どもが、そこへ参加している大人を信頼してちょっと相談したりとか、そういったところにつながっていったらいいのかなと。そのためには、学校もそうですし、行事もそうですけれども、楽しく魅力的にしていくことが必要だろうと。そのためにはやっぱり人も要るし、アイデアも要る。そこがサイクルになっていって、つながっていけばいいというのがBグループの意見でございました。

以上です。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

ここで、Bグループのテーマや発表いただいた内容に関しまして、他のグループの方からご意見等はございませんでしょうか。

それでは、最後にCグループのほうから、「社会的弱者との共生」について発表をお願いいたします。

【福留委員】 Cグループの発表をさせていただきます。

まず、このグループ、一番初めに、先生もさっき言われていたように「社会的弱者との共生」、この言葉に引っかかったということで、どういうふうにやっていったらいいのかなということも出てきたんですけども、社会的弱者って誰のことで、強者って、じゃあ、いるんですかみたいなことも出てきました。どこからが弱者なのかという、そういう弱者についての、言われた者の身にもなったらなというような話も出ながら、生きづらさを抱えている人というような、取りあえずそういうニュアンスで受け取って、ここで議論することにしました。

実際、障がいを持って、程度によっては弱者ではない、ハンデがあっても弱者ではないという人もいらっしゃいますし、高齢者も普通に暮らしていれば、弱者と言われていてもぴんとこない。高齢者だけで、それはどうなんやろうという、そういう意見が出ました。障がい者は決して弱くないですし、実際、高齢者も全てが弱者ではなくて、高齢の人でも参加できる、人を支える立場になり得るといふことと、見守られるだけではなくて、共に関係性をつくるということが、ここの共生の場という部分ではないだろうかというふうな意見もありました。

結局は違いを認め合う関係性ということで、普段からのつながりであったりとか、弱みばかりに目を向けるんじゃなくて、強みに目を向ければ、その人が生きる上でのポイントになってくるんじゃないかというふうなご意見もありました。

実質、こども110番って旗は掲げているんだけど、門扉が閉じていたのでは駆け込めない、オープンな商店などがあればいいなだったり、こども110番じゃなくて高齢110番であったりとか、何か困ったときに駆け込めるような場所ができればいいんじゃないかというご意見もありました。

高齢者に対応しようにも、個人情報保護法の関係で安否確認の声かけもできないような場面もありますという声がありました。そこでは見守り支援システムをどんどん進めてもらって、山之内スタイルと言われているような、スマイル協議会でボランティアさんが50名いるような形で、事業所の人たちもボランティアになって一緒にやっていく。もちろんそこには守秘義務をちゃんと守るということと、個人情報の壁があるということ、なかなか事業所には個人情報というのは、守秘義務もちゃんとあるにもかかわらず、教えてもらえないというような情報もあるので、それは地域の中に一緒に入り込んで教えてもらうという方法もあるのかなというふうな、ちょっと学びもありながら、ご意見のほうが出てきていました。

大阪人はおせっかいな人が多いというので、それを生かすということで、しんどくなったときはそのおせっかいがすごくありがたかったりするので、「大丈夫？」の一言の声かけがあったらいいなという意見と、これは2ページ、3ページにわたる意見が出ましたが、区レベルでもそれは進めてほしいなというご意見もありました。

スマホ教室とかも企画があるんだけど、そういう練習の場というのは包括とかもつくっているんだけど、年いったらなかなかそれが分かりづらい状況もあったり、できるほうに合わせるじゃなくて、できないほうに合わせるということも要るであろうし、デジタ

ル化も大事だけど、アナログ化で、普通に声かけできるのが一番いいんじゃないかなというよ
うな、要は貼り出しているにもかかわらずなかなか分かりづらい、読まない人もいてるので、ちょっと
隣の人が声をかけるということが大事じゃないかというような、言葉も大切だなということ
と。

実際、情報を集められるような、高齢者も勉強してやっていく、障がいの人も勉強して
やっていくということも要るんじゃないかということと、気さくに声かけできるような地
域づくりってすごく大事だなということと、あと、緊急通報システムとかもあるんですが、
申込み先も分からなかったり、あることすら知らないというような方もたくさんいらっし
やるということがここでも分かりましたので、何らかの形で、そういうのがあったら便利
よというふうなことも言っていければいいなというのがありました。

ざっと、このグループで出たことを上から順に言わせていただいたんですけど、やっ
ぱり声かけとつながりとか、普段から言われているような近所付き合いとかも大事な
だなと思いつつながら、このC班は終わりました。

どなたか補足があったら。大丈夫ですか。いいですか。

すみません、ちょっとお時間いただいて申し訳ないです。

【新熊（司会）】 ありがとうございます。

ここで、Cグループのテーマや発表いただいた内容に関しまして、他のグループの方か
らご意見等はございませんでしょうか。Cグループに限らず、さっき言いそびれたAグル
ープ、Bグループに対する意見とかでも結構ですが、どうでしょう。皆様、意見のほうは
出し尽くしたという感じでよろしいでしょうか。

それでは、ここでグループディスカッションを終わりたいと思います。

なお、この場でアイデア、ご意見を出し切れなかった場合や、その他区政会議に関する
ご意見等がございましたら、担当宛てにメールやファクスをお送りいただければと存じま
すが、これに加えまして、大阪市行政オンラインシステムというものでも随時お伺いする
ことができるようになりましたので、ご活用いただきたいと思います。

大阪市行政オンラインシステムをご利用される場合は、お手元にお配りしております資
料「区政会議へのアイデア・ご意見」についてでございます2次元コードを読み取って
いただきまして、流れに沿って登録や送信をお願いいたします。

また、本日いただきましたご意見等は取りまとめさせていただきます皆様にお示しす
るとともに、次回の区政会議でもまた同じテーマでご議論いただくことにより、具体的に

実施できるような方策等へと議論を深化させるために生かしていきたいと存じます。多数の貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

次の議事へ進めさせていただきますので、議長、副議長と職員の皆さんは元の座席のほうにお戻りください。

それでは、辻野議長、よろしくお願いたします。

【辻野議長】 グループディスカッション、本当にありがとうございました。

まとめの時間が限られていましたので、恐らくグループの中で何十分も話し合っていたこと断片のみ紹介いただいたのかなと思いますけれども、記録していただいておりますので、今後生かさせていただけるかなというふうに思っています。

先ほど司会の方からもご説明があったように、第3回もグループディスカッションとなっていて、たくさん芽が出るといいますか、そういう議論を、いろんなアイデアを交わしていただいたというところがあるので、そこで1回総括させていただいて、次回、具体的にさらに深めていくということができたら理想的じゃないかと思っていますので、よろしくお願いたします。

先ほどのアンケートシステムやご意見等、ちょっと言いそびれたとか時間が足りなかったという方がいらっしゃるかと思いますので、ぜひともご意見をお寄せいただけたらと思います。

それでは、その他事項に入りたいと思います。区役所のほうから説明をお願いいたします。

【新熊（司会）】 配付資料①の次第をご覧ください。

5番のその他の事項につきまして、私のほうからご説明申し上げます。

1点目、令和4年度区政会議に関するアンケートについてですが、区政会議委員の皆様は区政会議に関するご意見等をお伺いし、今後の区政会議の運営に反映させるため、アンケートを実施させていただきたいと存じます。

アンケート実施時期につきましては、委員の任期が2年ごとの9月末までとなっております。改選する年度におきましては前の任期の委員へアンケートを実施することとなっております。改選しない年度におきましても等間隔でアンケートを実施したいと考えております。この時期での実施とさせていただきたいと存じます。

つきましては、皆様、大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、お配りしておりますアンケートをご記入の上、今月末、9月30日金曜日までに担当までお送りいただきま

すよう、よろしくお願いいたします。

なお、メールでの送信を希望される方は、アンケートのデータをお送りさせていただきますので、担当までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、その他の2点目、第3回住吉区区政会議につきまして、令和4年12月6日火曜日の午後6時30分からの開催を予定しております。皆様、スケジュールをよろしくお願いいたします。内容につきましては、今回の内容を深化させていただきたいというふうに考えております。

最後に、3点目、各会議開催日程ですが、第2回住吉区地域福祉専門会議は令和4年9月22日木曜日、第2回住吉区防災専門会議は令和4年10月26日水曜日に開催を予定しておりますので、ご連絡いたします。

以上となります。

【辻野議長】 ありがとうございます。

それでは、ここで本日ご出席いただいております議員の方々から一言ずつお願いしたいと思えます。すみませんが、向かって手前の方から順番にお願いできますか。

【井上議員】 どうも皆さん、今日は区政委員の皆さん、大変お疲れさまでございました。また、職員の皆さんもお疲れさまでございました。

やっぱりグループディスカッションっていいなというのをすごく感じました。いろんな気づきに出会えると思えますし、また、お互いの認識が深まるという取組だと思えますので、今後もぜひ系統的に続けていっていただきたいなということを感じました。

私が一番お話を聞いていまして、この議論が、この意見交換が、私たちがコロナを経験していなかったら、どんな議論になっていたのかなということを感じました。というのは、区政委員の皆さんは何らかの地域活動に関わっておられる方ばかりでいらっしゃいますので、それぞれ3グループ回る中で、皆さんのご苦勞を大変伺うことができました。どこでも、どの地域でも結びつきやつながりの再生を図っている、そういう時期だというふうに思うんですね。どうやってつながったらいいいのか、どうやってこの結びつきを強めていったらいのかということに本当にご苦勞、ご尽力されておられる方々ばかりでいらっしゃいますので、これからも皆さんの地域の生の声を我々も伺いながら、ちょうどこれから、9月13日から議会も始まりますので、いろんな形で、提案型で、我々議員団も皆さんの声を反映できるように頑張っていきたいと思えます。

以上でございます。お疲れさまでございました。

【辻野議長】 ありがとうございます。

そうしましたら、お隣の方、お願いします。

【伊藤議員】 お疲れさまでございます。伊藤です。

今日は、感想になってしまうんですけども、先ほど、地域の魅力のまとめをされていたときに、行事を子ども向けにすることで若い人を呼び出すというのはすごいびっくりしたんですけども、私も子育てし始めたときにマンションに住んでいて、地域で行事やっているのがマンションに住んでいると分からないんですよ。ポストに入っているわけでもなく、掲示板を見ることもあまりないので、そんなときに、ふらっと歩いているときに、「あれっ、お祭りやっているやん」というのを経験したことがあって、本当に地域のまちを、マンションに住んでいる人でもしっかりと伝わる何かがあれば、若い人たちは絶対に参加したいと思いますので、それはすごいいいアイデアだなと思いました。

あともう1つなんですけれども、教育。「こどもの成長」のところ、今年の2学期から、小中学校というか、中学校はちょっとごめんなさい、分からないんですけども、学校の出席、欠席をお母さんたちがアプリで学校に配信で送れるようになったんですよ。それは先生たちの負担軽減というのもあって、そういうのが進んでいて、先ほどプリントがすごい多くて、それを見る機会もお母さんたち、お父さんたちは少ないので、掲示板とかにやっていただくこともいいんじゃないかということで、それこそ一緒にアプリでやってしまったほうが見落としも少なく、子どもたちの忘れ物も減るんじゃないかなと気づかせていただいて、本当に今日はいいアイデアをたくさん聞くことができ、本当にありがとうございます。9月市会からしっかりと市政のほうで反映できるよう頑張ってまいります。

ありがとうございます。

【辻野議長】 どうもありがとうございます。

そうしましたら、3人目の方、お願いいたします。

【中田議員】 どうも皆さん、お疲れさまです。

本当にいろんなご意見をお聞かせいただきました。私のほうからは、今いろんな課題を、テーマを挙げられて、皆さんでディスカッションされた中で、やっぱり根本のところ、今、社会的にはやっぱり少子高齢になっている。高齢者が多く、若い人たちが少ない。なおかつ、個々が、核家族化というか、大分前からの話ですけども、個人個人になってしまっている。関わりを持とうとしない。唯一関わりを持つのは、SNSの関係だけしかない。そんな状況の中で問題が複合化しているということ、先日研修を受けまして勉強させて

いただきました。

じゃ、どうしたらいいのかというのは、すぐにこれを解決するということは、講師の方はなかなかできないと。我々一人一人が、私たちはこれぐらいやってきたという自負を1回捨ててみたらどうかと。今もう時代は動いているので、その時代に合わせて前例をつくっていくんだという気概が必要ではないかというふうに、その講師の先生はおっしゃっていました。今、それぞれの課題は、やっぱりすぐには解決しない問題が多いと思います。どうかその気概だけは、僕も持っていくことが必要だなとつくづく思いました。前例がこうだからこうじゃなくて、前例をつくっていくんだと、それぐらいのパワーを持って取り組んでいけば、こじ開けていける課題が一つ一つ増えていくのかなと思います。貴重なご意見、本当にありがとうございます。

私からの提案ですけども、こういった形で皆さん、区政委員の皆様が行政の方々と一緒に交わって話をしていくわけですけども、せっかくSNSが発達している状況なので、例えばLINEとか使って広く区民の皆様の声を吸い上げるような。ちょうど住吉区はLINEをされているので、そういったところでテーマを出して、それを区民の皆様の意見を吸い上げる。テーマを決めていけばいいと思うんですけど、今日のディスカッションであったような子どもの教育のことであったり、地域の発展のこと、何かご意見ありませんかというのを吸い上げた上で、この区政会議で皆さんとその意見をまたすり込んでいくというか、協議し合っていくような形も取れば、もっと広くいろんな意見が聞けて、方法が見つかるのかなというふうに個人的には思いました。

本当に、今日、遅い時間になりましたけども、ご苦労さまでございました。ありがとうございました。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

そうしましたら、最後に区長からもお言葉をいただきたいと思うんですけども、私からちょっと一言御礼がありまして、先ほど各グループに職員さんそれぞれ一個人として入ってくださいとお願いしたんですけども、個人的に話をしてもやっぱり難しいんじゃないかなと不安はあったんですけど、私のグループでも、一個人でしゃべりますというところで、本当に心打たれるというか、具体的はちょっと省略するんですけども、ハンデを持つお子さんが、親が亡き後も安んじて生を全うできる社会になってほしいという、本当に切実な思いが伝わってきたんですね。

今ずらっと並んで職務に専心して下さっている職員の方々がいらっしゃって、本当に

すばらしい区だなと思っていて、そのお一人お一人にそういう思いがきつとあるんだろうなという、なかなかそういうことが表明できる機会というのが少ないと思いますので、非常にありがたかったなというふうに思っています。それを、ちょっと感謝も込めまして、すみません。

ということで、最後に区長から一言。一言というか、三言でも四言でもお願いします。

【平澤区長】 ありがとうございます。

本日、本当に遅い時間、長い時間、またいろいろご意見いただきまして、本当にありがとうございました。ディスカッションということで、テーマを掘り下げて、いろんなアイデアを出していただいて、区の職員も入らせていただいて、個人として自由にみんなで意見を出し合うという場を1回持ってみたいなと思っております、今回本当にいろんな意見が出ています。

私、Bのほうのグループのディスカッションをずっと聞かせていただいたんですけども、非常にいろんな自由なアイデアがたくさん出て、本当に気づかされた部分もたくさんありました。こういった議論を本当に深めていきたいと思っておりますので、また次回以降も同じテーマで議論を深めていくと。

また、住吉区も今の将来ビジョンが令和5年度で終了しまして、6年度から新しいビジョンが始まるということで、そういったビジョンの中にも皆様方のアイデアを生かしていきたいなと考えておりますので、また次回、今回いろいろな意見が出ましたので、その意見に対してどういうふうに思われたかとか、例えばうちの地域だったらこんなことをやっているよとか、そういったアイデアを持ち寄って、いろんな具体的な本当に区政に生かせるようなアイデアにしていける種をすごくたくさん今日はいただけたかなと思っておりますので、本当に感謝しておるところでございます。また、引き続きご意見をいただければと思っております。

また、私どものほうもできるだけ議論にも加わらせていただいて、本当に職員もいろんな仕事を通じる中で感じている部分もたくさんありますし、やれること、やれないこと、いろんなジレンマも抱えてやっているということもございますので、そういったあたりもちょっとフランクにこの場で意見交換させていただいて、区政の充実に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

【辻野議長】 どうもありがとうございました。

これで全ての議事が終了しました。ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

そしたら、司会の方から最後、お願いします。

【新熊（司会）】 辻野議長、どうもありがとうございました。

これで、令和4年度第2回住吉区区政会議を終了いたします。本日は長時間にわたり、皆様、どうもありがとうございました。

—— 了 ——